

## ペドロ・ファン・カバジェロ（アマンバイ県）



アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市へようこそ！！

アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市は、首都アスンシオン市から北東へ約 430km、ブラジルとの国境に接した街です。

ペドロ・ファン・カバジェロ市の日系社会は 1956 年 5 月、アマンバイ県 CAFÉ（コーヒー）耕地への契約雇用農の入植によって始まりました。しかし、実際のコーヒー雇用農とは、ブラジルのコーヒー農園の奴隷が解放され、それに代わるものとして導入されたため、労働条件や待遇は非常に厳しいものであったとのことです。また、CAFÉ 耕地の経営者は経営不振で貸金の遅払いや不払いが発生し、1959 年に倒産し、退耕者の大部分は土地を購入し自営農となり、一部はペドロ・ファン・カバジェロ市内やブラジルへ転住しました。

その後、コーヒー雇用農として入植した移住者によってペドロ・ファン・カバジェロ市、カピタン・バード（ペドロ・ファン・カバジェロ市からブラジル国境沿いに約 120 キロ南下した地点に位置する街）に日系社会が形成されました。

現在（2016 年 8 月現在）、アマンバイ県には約 120 家族 500 人（内、日本人会会員数約 400 人、89 家族）が住んでおり、他の移住地に比較し、商業を営んでいる日系人が多いです。

現在、ペドロ・ファン・カバジェロ市の日系社会ではブラジルの教育の水準の高さもあり、日系子弟の 70%がポンタ・ポラ（ブラジル）市内の学校へ通い、ブラジル公教育を受けており、この都市に住む日系人は一般的にスペイン語以外にポルトガル語及び日本語も話せます。

### アマンバイ日本人会

アマンバイ日本人会は 1956 年に設立され、現在（2016 年 8 月）8 つの支部（ペドロ・ファン・カバジェロ市の 5 支部、シリグエーロ支部、サンハ・ブタン支部、カピタン・バード支部）によって組織され、婦人部、青年部、むつみ会（老人クラブ）等の系統団体との協力のもとに、教育、文化、体育、福祉等の事業・活動を行っています。また、アマンバイ日本語学校及び幼稚園の運営も行っています。

アマンバイ日本人会傘下には、むつみ会、婦人部、青年部の他、舞踊部、カラオケ愛好会、ゲートボール愛好会、野球後援会、相撲愛好会等があり、日本人会が企画運営する行事等に協力すると共に、独自の活動で会員相互の親睦を深めています。



アマンバイ日本人会

### 社団法人アマンバイ日本人会

住所： Tte Herrero y Curupayty No. 390, P. J. Caballero,  
Dpto. Amambay, Paraguay

郵便あて先： Casilla de correo No. 14, P. J. Caballero,  
Dpto. Amambay, Paraguay

電話： (0336)272 529 ファックス： (0336)272 529

E-mail: amambayjp@yahoo.co.jp



アマンバイ公民館

### アマンバイ日本語学校

当初、各日本人移住地区に日本語学校がありましたが、1976年にサンハ・プタン、シリグエーロがアマンバイ中央校に統合し、現在のアマンバイ日本語学校が開校されました。

現時点（2016年8月現在）、アマンバイ日本語学校は幼稚園から小学～中学課程までのクラスが設けられており、全体生徒数は63名、教員数は4名です。

詳細については、以下のリンクにアクセスください。

[https://www.jica.go.jp/paraguay/office/activities/immigrant/ku57pq00001uuh30-att/school\\_amambay.pdf](https://www.jica.go.jp/paraguay/office/activities/immigrant/ku57pq00001uuh30-att/school_amambay.pdf)



アマンバイ日本語学校

### アマンバイ農業協同組合

1960年にアマンバイ農業協同組合が設立され、コーヒーを中心とした農業経営を目指し、1965年にはコーヒー乾燥工場が完成しました。しかしながら、1975年の大霜害でコーヒー農園はほぼ全滅し、大豆栽培、養鶏、養豚、牧牛等による多角化営農へ転換するなど、アマンバイ農協はこれまで幾つもの営農危機を乗り越えてきました。

現在（2016年9月）農協は、組合員数は約20名、大豆、小麦、トウモロコシ等の販売を主に行っており、他の日系農協と比較すると会員数及び農業生産面積・穀物生産量等は小規模ですが、安定した、また強固な日系団体組織として活躍しています。



アマンバイ農業協同組合サイロ

### ペドロ・ファン・カバジェロ市内の紹介



アマンバイ県庁



ペドロ・ファン・カバジェロ市警察署



日本の無償資金協力で建設されたアマンバイ地域病院 ¥



ブラジルとの国境



ブラジルとの国境沿いにあるショッピング



セロ・コラ 国立公園

## 行き方

アマンバイ県に行くには、国道 3 号線を約 330Km 行き「Yby Yau」と言う交差点から国道 5 号線を右に向かい、最終地点（Yby Yau から約 100Km）がペドロ・ファン・カバジェロ市です。アスンシオン首都からペドロ・ファン・カバジェロ市行きの長距離バスは頻繁に運行しています。ペドロ・ファン・カバジェロ市はアスンシオン市から北東に向けて約 430 km に地点に位置しており、バスで約 7 時間、車で 6 時間程かかります。



ペドロ・ファン・カバジェロ市バスターミナル

## 関連リンク

パラグアイへの日本人移住・入植の歴史等のより詳しい情報は、以下のパラグアイ日本人会連合会の HP をご覧ください。

<http://www.rengoukai.org.py/ja/la-sociedad-nikkei/idonde-estamos/amambay>

パラグアイ日本人会連合会：ピラポ日本人会を含むパラグアイ国内の 9 日本人会、文化協会と 1 日系団体が構成された法人（1970 年 9 月 8 日創立）